

# 暮らしやすく 希望あふれるまちに

上越市長 中川 幹太

明けましておめでとうございます。市民の皆様におかれましては、輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

本年3月16日には北陸新幹線の金沢―敦賀間が開業し、北陸や関西圏との交流や連携が一層深まることが期待されます。これを契機に、さらなる交流人口の拡大と地域経済の活性化に向けて取り組んでまいります。

急速に進行する少子高齢化や過疎化に加え、昨年の少雨と高温の影響による農作物被害の発生やエネルギー価格などの高騰は、市民生活と地域の経済活動に大きな影響を及ぼしています。このような中、デジタル化や脱炭素社会への転換など、「変革の時代」を迎えており、今こそ私は、次の時代に向けて挑む好機と捉え、生活の質やまちの持続性を高める取り組みを推進しております。とりわけ、当市の豊かな自然や伝統・文化を大切に守り、磨きをかけ、通年で観光ができるまちを目指すことで、まちの活性化を図りたいと考え

えております。

本年も「暮らしやすく、希望あふれるまち」の実現に向けて、直面するさまざまな課題の解決と、基礎的な行政サービスの確保・充実に努め、未来志向のまちづくりを推進してまいりますので、皆様のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

皆様にとりまして、この一年が健康で夢と希望に満ちた幸多き年となりますよう心からお祈り申し上げます。新年のご挨拶といたします。

# 未来につながる議会を目指して

上越市議会議長 石田 裕一

明けましておめでとうございます。市民の皆様におかれましては、希望に輝く新年を迎えられましたこととお慶び申し上げます。

昨年は、ポストコロナ時代を迎え、生活様式の変化が顕著になるとともに地域経済の回復への期待が拡大した年でした。しかし、物価高騰や記録的な高温・干ばつによる農作物被害は、市民生活に大きな影響をもたらしました。このような中、市からは経済対策が相次ぎ提案され、市議会

は2回にわたる臨時会で審査を行うなど、一刻も早く皆様に支援が届くよう迅速に対応してまいりました。

また、「身近な議会」を目指し、人が多く集まる商業施設や子育て支援施設での意見交換会、議場でのコンサート開催を実施したほか、市議会で議論されたエッセンスを動画で配信する取り組みも行い、市民の多様な意見の把握と情報発信に努めてまいりました。

現代は、多くの課題を抱え

変化が求められています。史上最少で米国大統領となったセオドア・ルーズベルトは、「行動を起こし、今をつかめ。人は貝になるために創られたのではない。」との言葉を残しています。私たち市議会はこの言葉を胸に、市民の皆様への負託に答え、その責務を果たしていきたいと考えております。

結びに、この一年が健やかで幸せに満ちた年となりますよう心からお祈り申し上げます。新年のご挨拶といたします。

